



令和元年5月9日

各位

会社名 三菱商事株式会社
代表者名 代表取締役 社長 垣内 威彦
(コード：8058、東証第1部)
問合せ先 広報部 報道チームリーダー
小沼 晶 (TEL. 03-3210-3030)

千代田化工建設株式会社の財務強化策への対応に関するお知らせ
(第三者割当増資の引受けによる子会社の異動及び融資契約について)

当社は、2019年5月9日開催の取締役会において、千代田化工建設株式会社(「千代田化工」)の財務強化策への対応として以下のとおり決議しましたので、お知らせします。

I. 第三者割当増資の引受け

下記I. 2 第三者割当増資の引受けの概要の通り。

II. 融資契約

下記I. 3 融資契約の概要の通り。

記

I. 第三者割当増資及び融資契約の概要

1. 第三者割当増資の引受け及び融資契約に基づく融資を実施する理由

当社は、2008年に千代田化工が実施した第三者割当増資を引き受け、同社を持分法適用関連会社とし、また、同社との間で資本業務提携契約を締結し、同社の企業価値向上に貢献すべく、経営支援・営業支援を行って参りました。

千代田化工は2018年10月31日付で公表した「業績予想及び配当予想の修正に関するお知らせ」において受注済みの既存事業での工事コストの大幅増加を主要因として2019年度3月期の通期連結業績予想を下方修正しました。加えて2019年2月13日付で公表した同社の「2019年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)」において純損失1,282億円を計上しました。

これらの事態を受け、千代田化工より当社に対して財務体質強化につき要請があり、当社としては同社に対するデュー・ディリジェンスを行い、今回の増資を引き受けることとしました。また、当社完全子会社である三菱商事フィナンシャルサービス株式会社をして、千代田化工と融資契約を締結させることとしました。

2. 第三者割当増資の引受けの概要

(1) 払込期日	2019年7月1日
(2) 引受新株式数	千代田化工A種優先株式 175,000,000株

(3) 引受価額	1株につき400円
(4) 引受価額の総額	70,000,000,000円
(5) 募集又は割当方法 (割当予定先)	第三者割当の方法により、当社に全てのA種優先株式を割り当てます。
(6) その他	2019年6月25日開催予定の千代田化工の第91回定時株主総会にて、第三者割当増資及び定款変更に係る各議案が可決されることを前提とします。

※詳細につきましては、2019年5月9日付で千代田化工が公表した「第三者割当による優先株式の発行、資金の借入れ及び定款の一部変更に関するお知らせ」をご参照下さい。

3. 融資契約の概要

(1) 貸付人	三菱商事フィナンシャルサービス株式会社
(2) 貸付金額	90,000,000,000円

4. 資金使途

上記第三者割当増資及び融資契約に基づく融資により千代田化工が調達する資金に係る使途は、同社再生計画の実現に資することを前提に、以下のとおりとすることを同社と合意しております。

- (1) 既存プロジェクト及び今後受注予定のプロジェクトの運転資金の調達
- (2) 抜本的なコスト削減の為の構造改革の実施
- (3) 建設力の強化とITマネジメントの為の設備投資

II. 子会社の異動

1. 異動の理由及び方法

当社は、2019年7月1日に予定されている第三者割当増資の払込みにより、千代田化工が発行するA種優先株式175,000,000株を取得します。A種優先株式には議決権がありませんが、2019年7月1日以降、行使可能となる普通株式への転換請求権が付されております。当社は2014年3月期の有価証券報告書における連結財務諸表より、連結財務諸表の用語、様式及び作成方法に関する規則に規定する指定国際会計基準(IFRS)を任意適用しておりますが、IFRSにおける連結範囲の判定においては、行使可能な潜在的議決権も考慮される為、時期は未定ですが、必要な許認可の取得が完了した時点で、会計上は、千代田化工建設が当社の連結子会社として取り扱われる予定です。

2. 異動する子会社(千代田化工建設株式会社)の概要

(1) 名 称	千代田化工建設株式会社	
(2) 所 在 地	神奈川県横浜市西区みなとみらい四丁目6番2号	
(3) 代表者の役職・氏名	代表取締役社長 山東 理二	
(4) 事 業 内 容	総合エンジニアリング事業(プラントに関するコンサルティング、計画、設計、調達、施工、試運転及びメンテナンス等)	
(5) 資 本 金	434億円	
(6) 設 立 年 月 日	1948年1月20日	
(7) 大株主及び持株比率	三菱商事 33.39%、日本マスタートラスト信託銀行 3.95%、三菱UFJ銀行 3.47%など	
(8) 上場会社と当該会社との間の関係	資 本 関 係	当社による当該会社持株比率は33.39%となります
	人 的 関 係	当社より1名が当該会社の取締役を兼任しております
	取 引 関 係	当社と当該会社との間には、産業プラント及びインフラ分野等における取引があります。
(9) 当該会社の最近3年間の連結経営成績及び連結財政状態		

決算期	2016年3月期	2017年3月期	2018年3月期
連結純資産	202,128百万円	157,125百万円	159,418百万円
連結総資産	528,219百万円	461,331百万円	420,704百万円
1株当たり連結純資産	722.9円	599.8円	608.4円
連結売上高	611,548百万円	603,745百万円	510,873百万円
連結営業利益	16,015百万円	15,680百万円	△12,330百万円
連結経常利益	16,205百万円	△3,080百万円	△10,100百万円
親会社株主に帰属する 当期純利益	3,375百万円	△41,116百万円	6,445百万円
1株当たり連結当期純利益	13.0円	△158.8円	24.9円
1株当たり配当金	10円	6.0円	7.5円

※当該会社の2019年3月期の連結経営成績及び連結財政状態は本日公表される予定です。

3. 取得株式数、取得価額及び取得前後の所有株式の状況

(1) 異動前の所有株式数	普通株式 86,931,220 株 (議決権の数 : 869,312 個) (議決権所有割合 : 33.57%)
(2) 取得株式数 (予定)	A種優先株式 175,000,000 株 (議決権なし)
(3) 取得価額	70,000,000,000 円
(4) A種優先株式に係る 普通株式への転換請 求権を全て行使した 後の 所有株式数	普通株 786,931,220 株 (議決権の数 : 7,869,312 個) (議決権所有割合 : 82.06%)

※A種優先株式に係る普通株式への転換請求権について、A種優先株式1株に対して交付される普通株式を算出するにあたり、転換価額は、当初転換価額である100円であり、転換請求権を行使する時点で、A種優先株式に係る配当は全額支払われていると仮定しております。

4. 日程

(1) 取締役会決議日	2019年5月9日
(2) 契約締結日	2019年5月9日
(3) A種優先株式発行日	2019年7月1日(予定)
(4) 普通株式への転換請求 権の行使日	未定(2019年7月1日以降、必要な許認可等を取得した後)

5. 今後の見通し

(1) A種優先株式の転換請求権について

第三者割当増資に係る払込完了後、当社は、千代田化工が発行するA種優先株式175,000,000株を所有することとなります。A種優先株式には議決権がありませんが、2019年7月1日以降において行使可能となる普通株式への転換請求権が付されており、その全てを行使することで普通株式700,000,000株に転換されます。その場合、当社は、既に所有している普通株式86,931,220株と合わせて、普通株式786,931,220株を所有することとなり、その議決権比率は、82.06%になります。なお、A種優先株式に係る普通株式への転換請求権について、A種優先株式1株に対して交付される普通株式を算出するにあたり、転換価額は、当初転換価額である100円であり、転換請求権を行使する時点で、A種優先株式に係る配当は全額支払われていると仮定しております。

(2) 当社は 2014 年 3 月期の有価証券報告書における連結財務諸表より、連結財務諸表の用語、様式及び作成方法に関する規則に規定する指定国際会計基準（I F R S）を任意適用しておりますが、I F R Sにおける連結範囲の判定においては、行使可能な潜在的議決権も考慮される為、時期は未定ですが、必要な許認可の取得が完了した時点で、会計上は、千代田化工建設が当社の連結子会社として取り扱われる予定です。

以 上